

～日本の原点 ものづくり～

世界遺産である平等院は多くの謎に包まれています。近年の調査で、仏像の作り方から池水の作庭法や色彩の塗布法に至るまで、これまで知られている内容・技法とは全く異なる事実が分かってきました。例えば、我が国最古の両面金糸や最古の青色瑠璃ガラスの発見、平等院自体が寄木造りの雅致な技の集合体であったことなどが挙げられます。

すなわち、平等院は和様・国風の完成であり、現在までそれが続く奇跡的な遺産であると言えます。

「和様」とはつまり「日本的」なものです。そう、平等院は長い歴史の中で「ものづくり」を育ててきた日本の原点を探ることの出来る場所だったのです。様々な問題を抱える現代日本ですが、ほんの少しだけ「古(いにしえ)」に目を向けることによって、これからの新しい時代を日本が、そして日本人が“生きる”ヒントが見つかるのではないのでしょうか。

今回は十円玉の鳳凰堂でお馴染みの宇治・平等院のご住職でいらっしゃる神居文彰氏をお招きし、その千年に渡る歴史を紐解きつつ、古(いにしえ)の日本の「ものづくり」文化からこれからの日本を考えるお話をいただきます。

講師紹介

平等院住職 **神居文彰氏**

Kami Monshou

略歴

- 1962年 愛知県生まれ
- 1981年 東海高等学校(名古屋市東区)卒業
- 1991年 大正大学博士課程 満期退学
- 1993年 宇治 平等院住職 就任
- 現在：佛教学非常勤講師・京都保険衛生
専門学校非常勤講師・メンタルケア協会講師 ほか
(財)美術院監事・埼玉工業大学理事・京都国立博物館評議員
(独)国立文化財運営機構運営委員 等

- 主著：「いのちの看取り」(共著) 四恩社刊
「臨終行儀 -日本のターミナル・ケアの原点-」(共著) 溪水社
「葬祭仏教」(共著) ノンブル社
「平等院物語 ああ良かったといえる瞬間」(単著) 四季社
「平等院鳳凰堂 よみがえる平安の色彩美」(単著) 東方出版
「新版古寺巡礼 平等院」(単著) 淡交社
「平等院王朝の美 -国宝鳳凰堂の仏後壁」 別冊太陽(監修) 平凡社 等

とき・ところ

2013年 3月 6日(水)

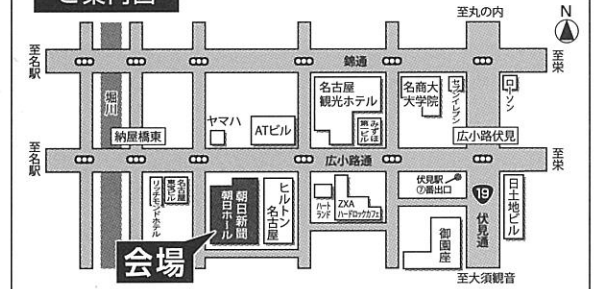
朝日新聞名古屋本社 朝日ホール
名古屋市中区栄1-3-3 15F

●名古屋市営地下鉄 東山線・鶴舞線「伏見駅」⑦番出口 徒歩5分

受付開始 17時30分～

講演会 18時～20時

ご案内図



※駐車場はご用意しておりませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

お申し込み

FAX : 052-242-9429
名古屋中法人会事務局宛

締切日：2月15日(金)

※お申し込みは先着順にて受け付けます。定員になり次第締め切らせていただきます。

会費

無 料

お申し込みいただいた方に整理券を郵送致します。
なお、ご入場の際には整理券を必ずご持参ください。

■下記にご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。 ※個人情報保護に関する各種法令を遵守致します。

般

お名前			
ご住所	〒 -		
電話番号		FAX番号	
同参加者氏名			

ご来場者 (申込ご本人を含む) 合計 名